

3 海岸漂着物等の現状

(1) 第2次計画の重点区域における回収・処理量

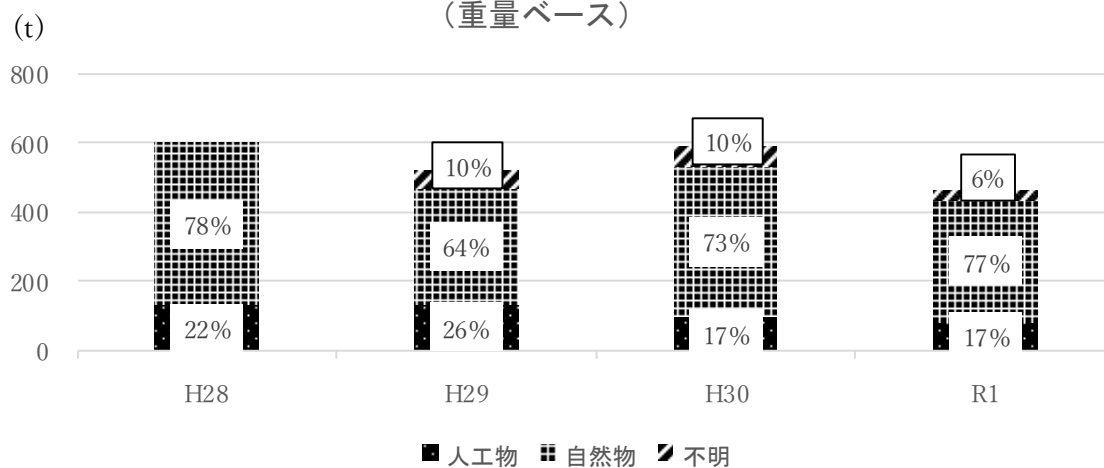
第2次計画実施期間中に、県の海岸漂着物地域対策推進事業により回収・処理した海岸漂着物等の量は次のとおりである。

各年度とも、流木や海藻といった自然物が大半を占めている。

			H28	H29	H30	R1
重さ (t)			599.1	518.5	588.4	464.8
内訳※ (重量ベース)	人工物		130.0	134.1	98.7	80.2
	自然物		469.1	334.3	430.8	355.8
	不明		0	49.9	58.8	28.7
体積 (m3)			3,746.8	2,430.7	3,641.6	2,806.4
内訳※ (体積ベース)	人工物		897.3	875.0	505.1	492.8
	自然物		2,849.4	1,312.6	2,727.3	2,125.7
	不明		0	243.0	409.1	187.9

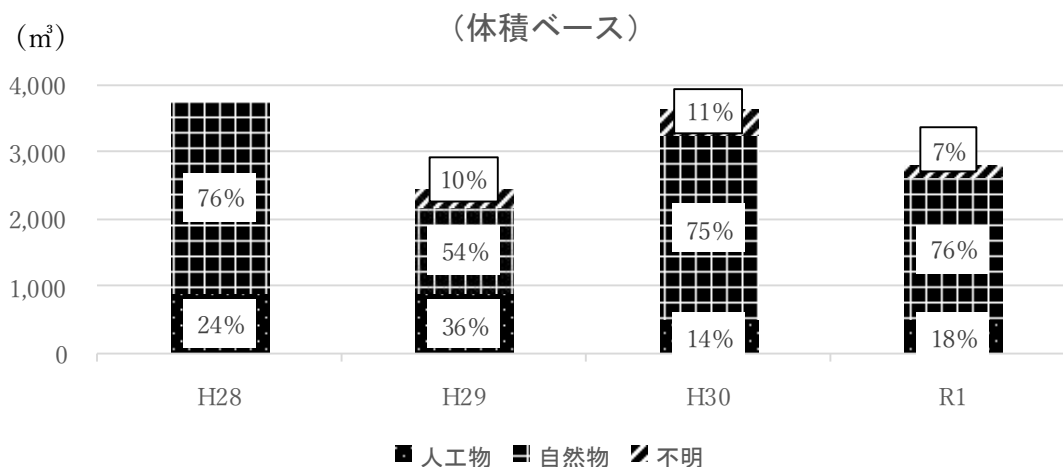
第2次計画期間中に回収・処理した海岸漂着物等の内訳

(重量ベース)



※四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

第2次計画期間中に回収・処理した海岸漂着物等の内訳



(2) 回収・処理した海岸漂着物等の主な内容

①自然物

藻類、流木、木くず等

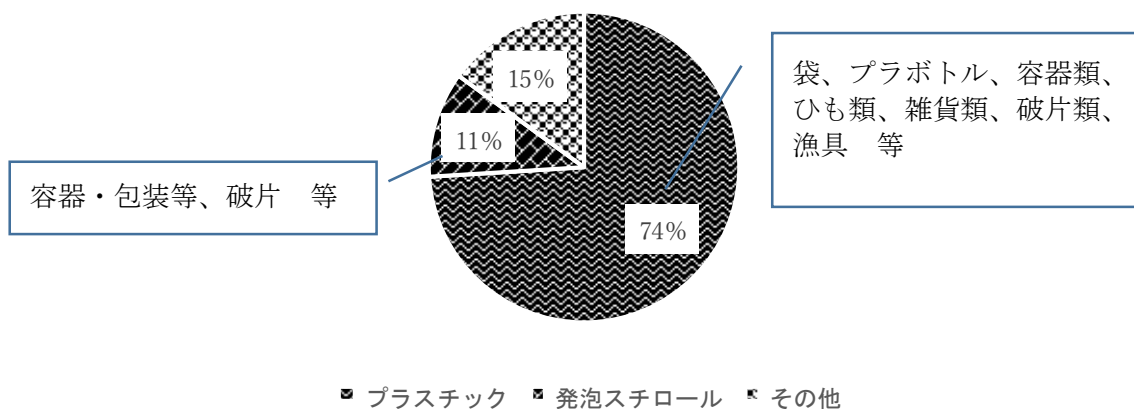
②人工物

プラスチック類、ゴム類、発泡スチロール類、紙類、布類、ガラス陶磁器類、金属類、漁具等

【参考：人工物の内訳】

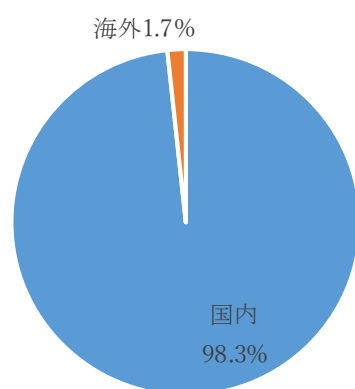
2017年度（平成29年度）、県内3箇所の海岸にて、人工由来の海岸漂着物等の個数を調査し、以下の結果を得た。

海岸漂着物等の種類別割合



(「平成29年度秋田県海岸漂着物調査」より)

【参考：海岸漂着物の国別割合】



(「平成 29 年度秋田県海岸漂着物調査」より)